

めざす学校像・子ども像・教員像	課題	今後の改善方針
<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心で生き生きと活気あれる学校 目標へ向かって全力で挑戦する子ども 教育に対する信念と情熱を持ち、熱い気持ちで教育活動を実践する教師 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と学力向上 不登校ゼロの取組 あいさつ、掃除の質の向上 新学習指導要領の実施に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の授業の研究や家庭学習の充実 補充、発展の時間の効果的な活用 交換授業や一部教科担任制の効果的な実施 早期発見と保護者や関係機関との連携 学校生活アンケートや教育相談の充実 率先垂範の励行 全校朝会や学級での定期的な指導や掲示物の有効活用 児童会との連携 外国語教育、道徳の教科化、キャリア教育等の実施に向けた研究の計画的な取り組み

重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明
基礎学力の定着と向上	家庭学習の定着。低学年30分、中学年45分、高学年60分を目標に取り組む。80%以上の達成をめざす。 学力向上への意識を高めるため、忘れ物ゼロウィークを学期に1回実施する。 ぐんぐんタイムの効果的な運用。専科の先生方による個に応じた指導を年間を通して計画的に行う。 学習過程の要所で「考えを書くこと」を取り入れた指導を充実する。教師評価80%以上をめざす。	・草ヶ江っこ学び方アンケートで「毎日宿題を提出しているか」という質問項目について「できた、よくできた」と回答した児童が88%。「できなかった」と回答した児童は1%であった。家庭学習はおおむね定着していると感じる。 ・学期に1回忘れ物ゼロウィークを設定した。「学習に必要なものを忘れずに持ってきている」という質問項目に対して教師評価で84%達成している。 ・学力の向上を目的に給食準備時間に、専科の教員で指導に当たっている。2学期以降曜日ごとに学年を決めて取り組んだ。 ・学習過程の要所で「考えを書くこと」を取り入れた指導については教師評価で94%が達成感を感じている。
不登校児童の減少と元気の良いあいさつの徹底	福岡市生活習慣調査で「学校や地域の人に自分からあいさつをする」を6割の児童が「ハイ」と答える。 元気の良いあいさつの徹底を図る。教師、保護者評価80%以上をめざす。 不登校児童0をめざす。 0	・福岡市生活習慣調査では「学校や地域でも自分からあいさつをしている」という質問項目に関して「当てはまる」と回答した児童が60%、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童は30%である。 ・日常のあいさつの達成率は、教師評価82%で、保護者評価は75%である。 ・不登校児童への取り組みについては、定期的な家庭訪問や保護者との面談を通して、4名中2名は改善をはかることができた。2名については今後も継続的に保護者との連携をとりながら改善できるよう努める。
体育科教育の充実	校内テーマ研修で体育・保健に関する授業研を学期に1回行い、職員一人一人の指導力の向上を図る。 授業研の学習内容については、学年で協力して協議や確認を行う。 授業アンケートで「体育が好きである」を9割の児童が「ハイ」と答える。 0	・1年を通して「健やかな体と心をつくる実践力を持った草ヶ江っ子の育成」をテーマに全職員による授業研を行うことができた。1, 3, 5年が保健分野で2, 4, 6年が体育分野で授業研を行った。 ・各学年のすべてのクラスで授業研を行い、事前授業や全研授業を実施する過程で学年での協議や確認を十分に行うことができた。 ・92%の児童が「体育が好きである」という質問項目に対して「ハイ」と回答している。日々の授業やすこやかタイムの活動を通して、体育の楽しさを実感させることができていると感じる。

学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)

・素直で元気な子ども達が多いと感じた。
 ・優しさに溢れた楽しい笑い声が学級から聞こえている。
 ・ピフォーアアフタータイムの取り組みが素晴らしく、掃除が上手にできている。
 ・先生との距離感が適度に近いから、子ども達がのびのびと学校生活を送っている。
 ・授業中に先生を見る子ども達の目が明るい。
 ・先生が笑顔でいると子ども達も笑顔になり、授業が楽しくなる。

- 優しさが育つていると感じた。特別に支援が必要な子どもを周りの子ども達か又えている。
- 成績的には良好な結果であるが、学習の基礎・基本の理解が十分でない子どももいると聞いている。その子ども達に対する計画的な指導をお願いしたい。